

## 第7回かながわ教育学講座

令和3年11月7日、第7回かながわ教育学講座が開催されました。第7回教育学講座のテーマは「児童・生徒指導」です。神奈川県立総合教育センター 加藤教育指導専門員による講義が行われました。

講義では、喫緊の課題となっている「いじめ」の早期発見・対処についての話がありました。

「いじめ防止対策推進法」(2013年(平成25年)6月28日公布)によって、『対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの』と定義されていることに加え、「いじめの芽」についての話がありました。

「いじめ」が分かったとき、『①安全の確保、②孤立化の解消、③二度と孤立させない!』という大人の責任ある保障の言葉・その実行』(中井久夫『いじめの政治学』)の3つをしていくことの重要性が説明されました。



## 講義「児童・生徒指導」



## グループ活動



講義の後は、グループ活動が行われました。教育学講座の内容であった「いじめ」を題材とし、小グループになって、先生役、児童・生徒役(加害者、被害者、傍観者)に分かれてロールプレイをしました。

ロールプレイを互いに見合い、それぞれが感じたことや気づいたことから、いじめを未然に防ぐ方法について共有する様子が見られました。

カレッジ生の皆さんの「課題を自分事として捉え、真摯に向き合う姿」には目を見張るものがあります。教壇に立った時、児童・生徒の様子を丁寧に見取り、いじめの芽を早期に摘んでいる姿が目につきました。

## 受講者の感想

○いじめの問題については考え続けなければならない事だと思うし、学び続けるものでもあると思うし、教師の立場になれば教え続けなければならないものだと思う。無いからいい、起きたらどうしようではなく、未然に防ぐ、起きたらどのように対処するかについて私自身学び続けたい。

○ロールプレイを通して、その役に入り込めたのが良かったです。それぞれの立場になって考えることで、色々なものの見方ができました。いじめの未然防止が大切ではありますが、もしいじめが起こってしまった場合は、1人で抱え込まず、教職員で解決することが大切だということを改めて思いました。